

評価項目	A (各4点)	B (各3点)	C (2点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
<b>1) マタニティサイクルにある女性を統一して捉えることができる。(D)</b>				
① 対象者の身体的・心理的・社会的側面を捉えることができる。	アセスメント用紙(妊産期・産褥期・新生児期)を用い、診断指標から診断名を導き出すことができる。	教員の助言によりアセスメント用紙(妊産期・産褥期・新生児期)を用い、診断指標から診断名を導き出すことができる。	教員の多くの助言によりアセスメント用紙(妊産期・産褥期・新生児期)を用い、診断指標から診断名を導き出すことができる。	アセスメント用紙(妊産期・産褥期・新生児期)を用い、診断指標から診断名を導き出すことができない。
② 対象者の母性機能の発達の側面を捉えることができる。	アセスメント用紙(妊産期・産褥期・新生児期)を用い、診断指標から発達の側面における診断名を導き出すことができる。	教員の助言によりアセスメント用紙(妊産期・産褥期・新生児期)を用い、診断指標から発達の側面における診断名を導き出すことができる。	教員の多くの助言によりアセスメント用紙(妊産期・産褥期・新生児期)を用い、診断指標から発達の側面における診断名を導き出すことができる。	教員の多くの助言によりアセスメント用紙(妊産期・産褥期・新生児期)を用い、診断指標から発達の側面における診断名を導き出すことができない。
<b>2) マタニティサイクルにある女性と新生児を対象に、母性機能と健康の課題および援助について考えることができる。(D)</b>				
③ 新しい生命を迎え入れる家族に寄り添い、思いを深めることで必要な支援活動について考えることができる。	新しい家族としての発達を理解し、母親役割・父親役割を促進する支援活動について考えることができる。	教員の助言により新しい家族としての発達を理解し、母親役割・父親役割を促進する支援活動について考えることができる。	教員の多くの助言により新しい家族としての発達を理解し、母親役割・父親役割を促進する支援活動について考えることができる。	母親役割・父親役割を促進する支援活動について考えることができない。
④ アセスメントに基づき援助計画を立てることができる。	系統的に日々の逐次情報を追加し、診断指標から診断名を導き出すことができる。	教員の助言により系統的に日々の逐次情報を追加し、診断指標から診断名を導き出すことができる。	教員の多くの助言により系統的に日々の逐次情報を追加し、診断指標から診断名を導き出すことができる。	日々の情報を追加しながらアセスメントすることができない。
⑤ 援助計画に基づき基本的な観察ができる。	援助計画に基づき、1人で基本的な観察ができる。	教員の助言により援助計画に基づき、基本的な観察ができる。	教員の多くの助言により援助計画に基づき、基本的な観察ができる。	援助計画をもとにした観察ができない。
<b>3) 母性看護学特有の看護技術を理解し、実施できる。(D)</b>				
⑥ 分娩期(妊婦受け持ちの場合は入院中)の胎児の発育・健康状態をアセスメントできる。	胎児の健康状態・発育状態について必要な情報から、1人でアセスメントできる。	教員の助言により胎児の健康状態・発育状態について必要な情報から、アセスメントできる。	教員の多くの助言により胎児の健康状態・発育状態について必要な情報から、アセスメントできる。	カルテから胎児の健康状態・発育状態の情報を得ることができない。
⑦ マタニティサイクルにある女性の基本的ニーズを満たす看護技術を理解・実施できる。	マタニティサイクルにある女性の基本的ニーズを満たす看護技術を自立して実施できる。	マタニティサイクルにある女性の基本的ニーズを満たす看護技術を教員の助言により実施できる。	マタニティサイクルにある女性の基本的ニーズを満たす看護技術を教員の多くの助言により実施できる。	安全に女性の基本的ニーズを満たす看護技術ができない。
⑧ 新生児の基本的ニーズを満たす看護技術を理解・実施できる。	新生児の基本的ニーズを満たす看護技術を自立して実施できる。	新生児の基本的ニーズを満たす看護技術を教員の助言により実施できる。	新生児の基本的ニーズを満たす看護技術を教員の多くの助言により実施できる。	安全に新生児の基本的ニーズを満たす看護技術を教員の多くの助言により実施できる。
⑨ マタニティサイクルにある女性の母性機能および健康に関する適切な行動を促進する看護技術を理解・実施できる。	マタニティサイクルにある女性の母性機能および健康に関する適切な行動を促進する看護技術を自立して実施できる。	マタニティサイクルにある女性の母性機能および健康に関する適切な行動を促進する看護技術を教員の助言により実施できる。	マタニティサイクルにある女性の母性機能および健康に関する適切な行動を促進する看護技術を教員の多くの助言により実施できる。	マタニティサイクルにある女性の母性機能および健康に関する適切な行動を促進する看護技術が安全に実施できない。
⑩ 母子を対象としてとらえ、ウェルネスを含めた看護上の問題を導き出し、根拠に基づいた看護過程を展開できる。	母子を対象としてとらえ、ウェルネスを含めた看護上の問題を導き出し、根拠に基づいた看護過程を展開できる。	母子を対象としてとらえ、ウェルネスを含めた看護上の問題を教員の助言により導き出し、根拠に基づいた看護過程を展開できる。	母子を対象としてとらえ、ウェルネスを含めた看護上の問題を教員の多くの助言により導き出し、根拠に基づいた看護過程を展開できる。	ウェルネスの視点で看護過程を展開できない。
⑪ 対象となる母子の生活の場の状況をアセスメントし、それ適した、母子保健に関する社会的資源の活用について学ぶことができる。	対象となる母子の生活の場の状況を自立してアセスメントし、それ適した、母子保健に関する社会的資源の活用について学ぶことができる。	対象となる母子の生活の場の状況を教員の助言によりアセスメントし、それ適した、母子保健に関する社会的資源の活用について学ぶことができる。	対象となる母子の生活の場の状況を教員の多くの助言によりアセスメントし、それ適した、母子保健に関する社会的資源の活用について学ぶことができる。	母子保健に関する社会的資源を調べることができない。
<b>4) マタニティサイクルにある女性と新生児に対して、論理的に配慮した看護援助を実施できる。(D)</b>				
⑫ 対象の尊厳・信念や価値・プライバシーを尊重する態度を示すことができる。	主体的に対象の尊厳・信念や価値・プライバシーを尊重する態度を示すことができる。	教員の助言により対象の尊厳・信念や価値・プライバシーを尊重する態度を示すことができる。	教員の多くの助言により対象の尊厳・信念や価値・プライバシーを尊重する態度を示すことができる。	対象の尊厳・信念や価値・プライバシーを尊重する態度について、指導を受けた。
⑬ 看護の実施に際し、これらが尊重される環境を整えることができる。	主体的に看護の実施に際し、これらが尊重される環境を整えることができる。	教員の助言により看護の実施に際し、これらが尊重される環境を整えることができる。	教員の多くの助言により看護の実施に際し、これらが尊重される環境を整えることができる。	看護の実施に際し、これらが尊重される環境を整えることができない。
<b>5) 他者(対象者、他の学生)の経験を共有し、女性・子ども・家族の健康と看護の役割について考えを深めることができる。(D)</b>				
⑭ 他者とのコミュニケーションがとれる。	主体的に他者とのコミュニケーションがとれる。	教員の助言により他者とのコミュニケーションがとれる。	教員の多くの助言により他者とのコミュニケーションがとれる。	コミュニケーションがとれず、グループダイナミクスを活かせなかった。
⑮ 他者の経験を自分の経験として捉えなおすことができる。	主体的に他者の経験を自分の経験として捉えなおすことができる。	教員の助言により他者の経験を自分の経験として捉えなおすことができる。	教員の多くの助言により他者の経験を自分の経験として捉えなおすことができる。	他者の経験を自分の経験として捉えなおすことができない。
⑯ 女性・子ども・家族の健康と看護の役割について、自分の言葉で表現できる。	女性・子ども・家族の健康と看護の役割について、記述できる。	教員の助言により女性・子ども・家族の健康と看護の役割について、記述できる。	教員の多くの助言により女性・子ども・家族の健康と看護の役割について、記述できる。	教員の多くの助言により女性・子ども・家族の健康と看護の役割について、記述できない。
<b>6) 母性看護学実習において必要な実習態度で臨むことができる。(D,E)</b>				
⑰ 主体的に学ぶことができる。	主体的に学ぶことができる。	教員の助言により主体的に学ぶことができる。	教員の多くの助言により主体的に学ぶことができる。	主体的に学ぶことができなかった。
⑱ 実習中に受けた指導をもとに記録等の修正ができる。	実習中に受けた指導をもとに記録等の修正が翌日以内に行える。	実習中に受けた指導をもとに記録等の修正が2日以内に行える。	実習中に受けた指導をもとに記録等の修正が3日以内に行える。	記録の修正ができなかった。
⑲ 事前学習を提出できる。	提出期日を守り、事前学習を提出できる。			事前学習の提出が遅れた。
⑳ 自己管理(身だしなみ・健康面)ができる。	自己管理(身だしなみ・健康面)ができる。			自己管理(身だしなみ・健康面)が時々できなかった。
㉑ まとめめの会で看護過程の展開を発表できる。	資料を作成し、まとめめの会で看護過程の展開を発表できる。	教員の助言により資料を作成し、まとめめの会で看護過程の展開を発表できる。	教員の多くの助言により資料を作成し、まとめめの会で看護過程の展開を発表できる。	資料を作成できず、まとめめの会で看護過程の展開を発表できなかった。
㉒ まとめめの会で助産院の特徴や実習内容、学びを発表できる。	資料を作成し、まとめめの会で助産院の特徴や実習内容、学びを発表できる。	教員の助言により資料を作成し、まとめめの会で助産院の特徴や実習内容、学びを発表できる。	教員の多くの助言により資料を作成し、まとめめの会で助産院の特徴や実習内容、学びを発表できる。	資料を作成できず、まとめめの会で助産院の特徴や実習内容、学びを発表できなかった。
㉓ NICU・GCUの実習において、ディベロップメンタルケア/Family-centercare,多職種連携の意義が理解できる。	事前学習をもとに、NICU・GCUの実習において、ディベロップメンタルケア/Family-centercare,多職種連携の意義が記述できる。	教員の助言により、NICU・GCUの実習において、ディベロップメンタルケア/Family-centercare,多職種連携の意義が記述できる。	教員の多くの助言により、NICU・GCUの実習において、ディベロップメンタルケア/Family-centercare,多職種連携の意義が記述できる。	NICU・GCUの実習において、ディベロップメンタルケア/Family-centercare,多職種連携の意義が記述できなかった。
<b>7) 助産院の特徴を共有することで、地域における助産院の果たす機能について理解を深める。(D)</b>				
㉔ 各実習施設の特徴を調べることができる。	各実習施設(助産院)の特徴を調べることができる。	教員の助言により各実習施設(助産院)の特徴を調べることができる。	教員の多くの助言により各実習施設(助産院)の特徴を調べることができる。	各実習施設(助産院)の特徴を調べることができなかった。
㉕ 実習内容に応じた看護活動に参加することができる。	主体的に実習内容に応じた看護活動に参加することができる。	指導者の助言により実習内容に応じた看護活動に参加することができる。	指導者の多くの助言により実習内容に応じた看護活動に参加することができる。	学習内容に応じた看護活動に全く主体的に参加することができなかった。